

資料 5

財)JKA 自転車等機械工業振興事業
平成23年度 IdMにおける共通本人認証基盤の開発研究補助事業

第1回 IdMにおける共通本人認証基盤の 開発研究委員会

2011.07.20

(一社)自動認識システム協会 事務局

Copy Right (C) 2011, JAISA, All Right Reserved.

1. 事業の目的と背景

1) 目的

IdM技術とバイOMETリック認証技術を組み合わせる新しい本人認証基盤(以下「共通バイOMETリック認証基盤」という)の研究、開発

2) 背景

市場動向: 「情報通信技術の利活用の促進」「電子行政の共通基盤としての「国民ID制度」の整備」「電子行政サービスの拡大施策」などの動き。



阻害要因: セキュリティに対する懸念
(パスワード漏洩時の被害の増大の懸念)

IdMが応用されるアプリケーション分野でバイOMETリクス応用が進みバイOMETリクス市場の活性化に繋がる。

3) 必要性

民間と公共のサービスに適用可能な「共通バイOMETリック認証基盤」を開発・検証提供することで、懸念を払拭。

Copyright(C) 2011, JAISA, , All right reserved.

2. 事業の経緯

平成22年度 財)機械システム振興協会殿の調査開発事業「アイデンティティ・マネジメントへのバイオメトリクス組み込み時の課題と海外動向、標準化動向に関する調査研究」として、本年度実施する研究開発事業の基となる調査研究を実施。

- 成果:
- ①IdM分野にバイオメトリクスの市場性がある
 - ②IdM技術とバイオメトリック認証技術を組み合わせる新しい本人認証基盤のアーキテクチャの基本方針
 - ③IdM技術とバイオメトリック認証技術を組み合わせる場合のプライバシー問題を整理



平成23年度 本補助事業 (3カ年計画)

Copyright(C) 2011, JAISA, , All right reserved.

3. 事業の内容

概要: 民間サービスだけでなく、公共性の高い電子行政サービスにも適用可能なIdMシステムにバイオメトリクスを組み込むことを可能とする新本人認証基盤の研究、開発とその評価を行う。

- **平成23年度(本開発研究):** 認証基盤プロトタイプの開発研究
(単一技術における認証基盤の重要部分(生体情報取得機能)の開発)
 - 共通バイオメトリック認証基盤ソフトウェアの研究、開発
 - 開発システムの検証実験の実施及び評価
- **平成24年度:** 認証基盤プロトタイプの開発研究
(単一技術における認証基盤全体の開発を完了)
- **平成25年度:** バイオメトリクス新認証基盤オープンソースの完成
(主要技術(指紋、静脈、顔、虹彩)が組み込み可能な認証基盤の完成)

Copyright(C) 2011, JAISA, , All right reserved.

4. 事業の進め方

1) 共通バイOMETリック認証基盤ソフトウェアの研究、開発

- 委員会の構成員により、共通バイOMETリック認証基盤の仕様検討を行う。
- 委員会の構成員により、関連する調査研究をおこなう。
- プログラム開発は、委員会の構成員のベンダ各社より選定の上、委託し実施する。

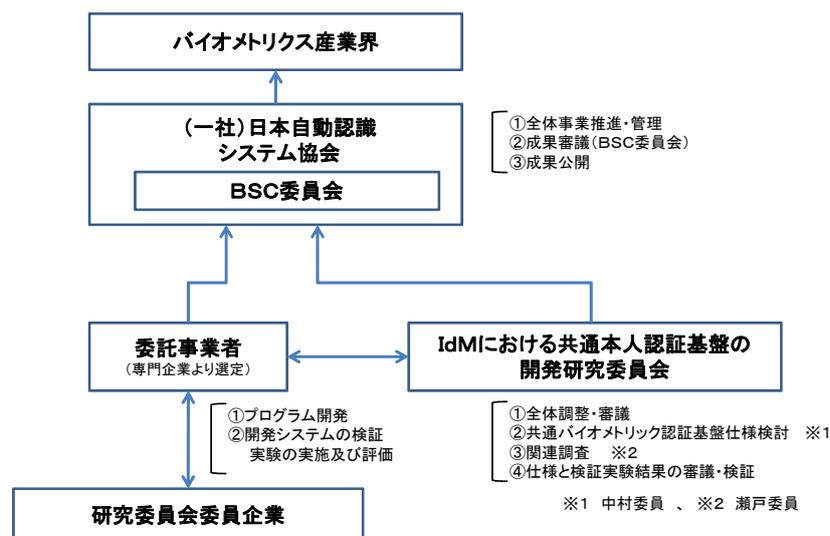
2) 開発システムの検証実験の実施及び評価

オリジナル製品の性能と本開発システムの性能の比較・評価等の具体的な検証作業。

- 実作業は、委員会の構成員のベンダ各社より選定の上、委託し実施する。
- 内容を委員会にて審議、検証する。

Copyright(C) 2011, JAISA, , All right reserved.

5. 推進体制



Copyright(C) 2011, JAISA, , All right reserved.

